



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第五十六号）

清明 せいめい

四月五日



文 千種清美

## 二十四節気の楽しみ

学校や会社で新年度がスタート。年度初めは、年初めの一月とはまた違った新たな気持ちになります。何かを始めたり、またこれから始めようかと思っている方も多いはず。私は日々の暮らしの中で、ちょっとした工夫をしようかと思っています。

和文化研究家の三浦康子さんが提案している「十二か月の四季彩手帳術」というもの。月ごとにチェックポイント・リストを決めておき、その項目に日付を入れる仕組みです。三浦さんのリストを記すと、

- 一月、ふきのとうを見つけた日
- 二月、名残雪になった日
- 三月、沈丁花どんちやうげの香りに気づいた日
- 四月、土筆つげを見つけた日
- 五月、白詰草の花を見つけた日
- 六月、アメンボを見つけた日
- 七月、入道雲を見た日
- 八月、ツクツクボウシの声を聞いた日
- 九月、しみじみ月を眺めた日
- 十月、金木犀きんもぎせの香りに気づいた日
- 十一月、松ぼっくりを拾った日
- 十二月、初雪が降った日

ちなみに暖冬の今年は季節の移り変わりが早く、土筆を見つけたのが三月十九日。ツバメもすでに来ています。「暮らしのぞき箱」流にいくなら、二十四節気を楽しめるようなリストを作りたいと思います。四月初旬の清明の頃は、何を見つけられるでしょうか。